施主様用

UA148

このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書 自然浴生活

ライフモダン タッチ&ノータッチキー門扉

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

もくじ

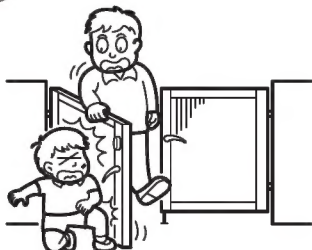
●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

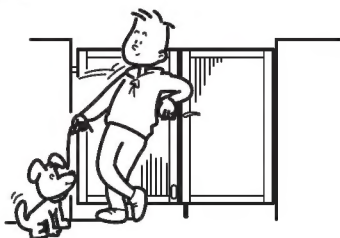
UA148_200707C

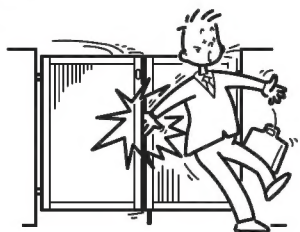
1　安全のために必ず守ってください

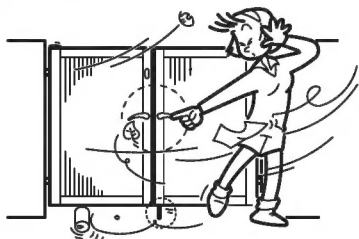
⚠警告

●ボックスの上に足をかけたり、乗ったりしないでください。
落下・感電によるケガの原因になります。
●使用中は必ずボックスのフタを閉めてください。
漏電・感電によるケガ・故障の原因になります。

⚠注意

●開閉操作をする前に周囲に人がいないことを確認してください。扉にはさまれたりぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。

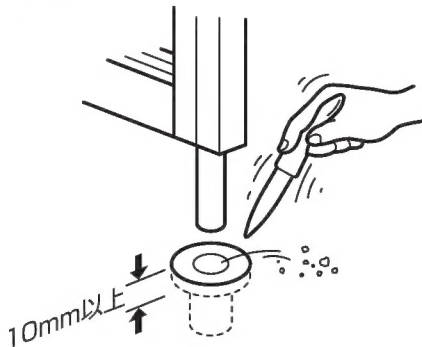
⚠注意

●門扉に乗ったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。門扉がはずれてケガをするおそれがあります。

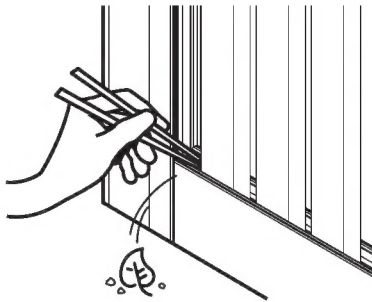
⚠注意

●門扉を開閉するときは、門柱と扉の間や、扉と扉の間に手や足をはさまないように注意してください。特に風の強いときは、急に開閉しますので注意してください。

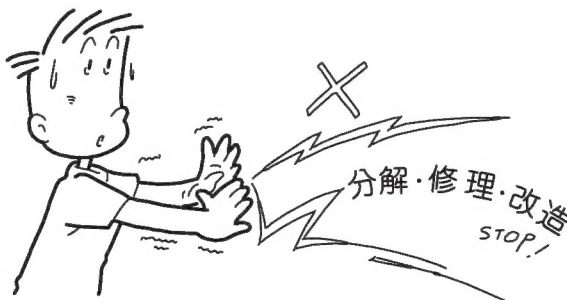
⚠注意

●強風時には必ず施錠し、落し棒をおろしてください。強風で扉が開き、人に当たってケガをするおそれがあります。

⚠注意

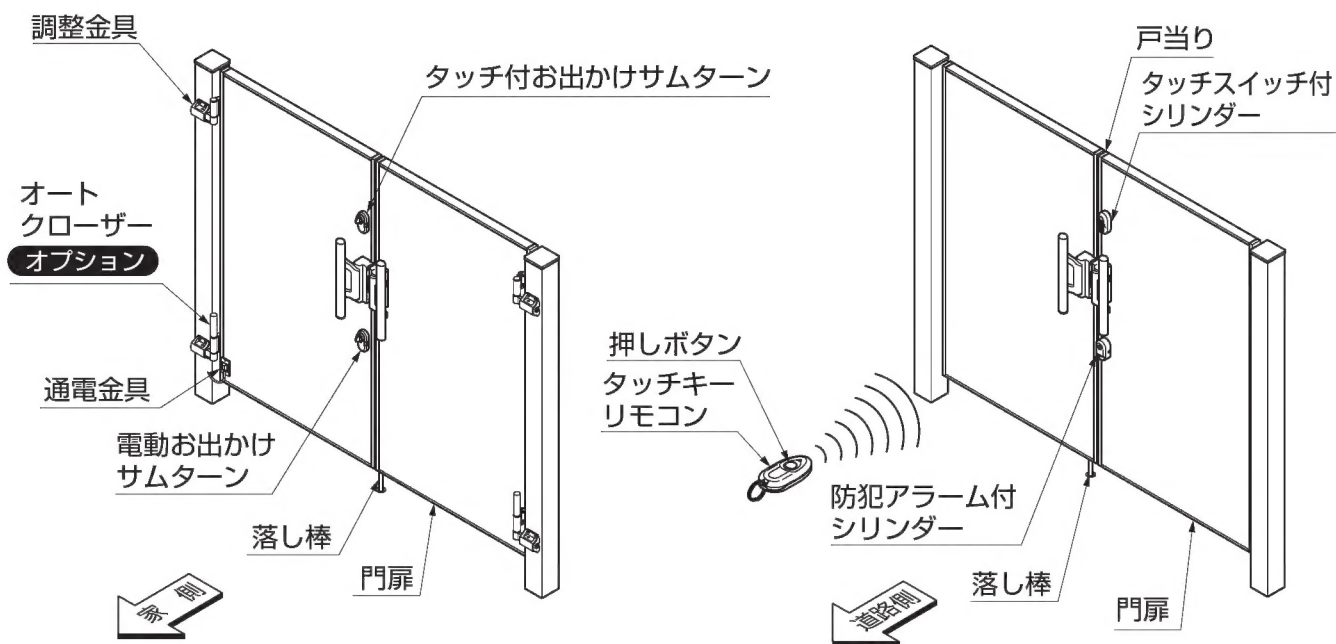
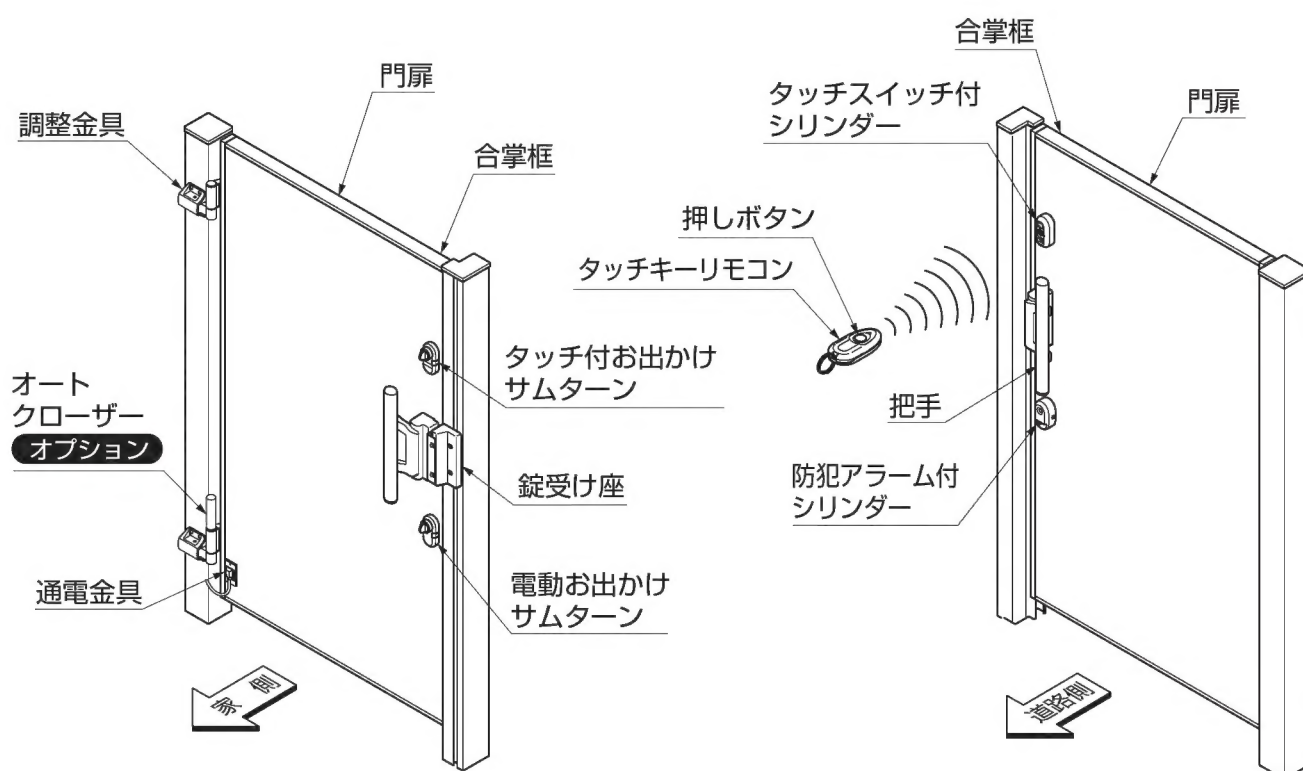
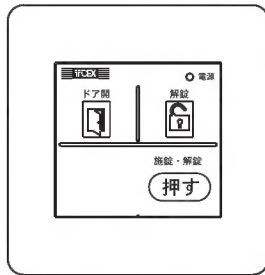
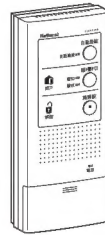
●タッチキーリモコンを門扉の約2.5メートル以内に放置したまま離れないでください。盗難等の発生の原因になります。

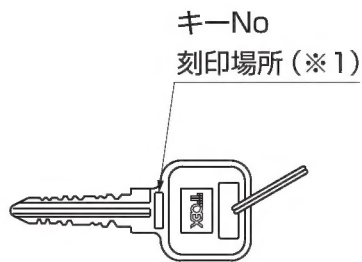
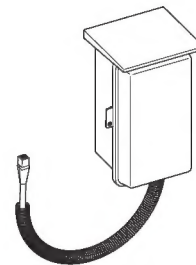
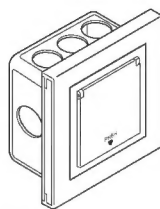
⚠注意

●落し棒付の門扉では、落し棒受けの土砂は掛かりが10mm以下になる前に取除いてください。落し棒のかかりが浅いと強風で扉が動き、人に当たってケガをするおそれがあります。

⚠注意

●落ち葉等が溝にたまったときは、ピンセットや割り箸をつかって取除いてください。手で取除くとケガをするおそれがあります。

⚠注意

●電気錠や室内メインコントローラーを分解したり、改造したりしないでください。異常な作動をしてケガをすることがあります。

2　各部の名称

（1）両開き　※H1200には、防犯アラーム付シリンダーおよび電動お出かけサムターンは付きません。

（2）片開き　※H1200には、防犯アラーム付シリンダーおよび電動お出かけサムターンは付きません。

(3) 室内親器　※配線式の場合のみ、どちらかの室内親器を使用します。

室内メイン
コントローラー
(配線式)

電気錠操作
ユニットB
(2線配線式)

(4) 付属品

キー

電気錠変換
ボックス
(2線配線式)

オプション

シークレットキー
(テンキー)
(2線配線式)

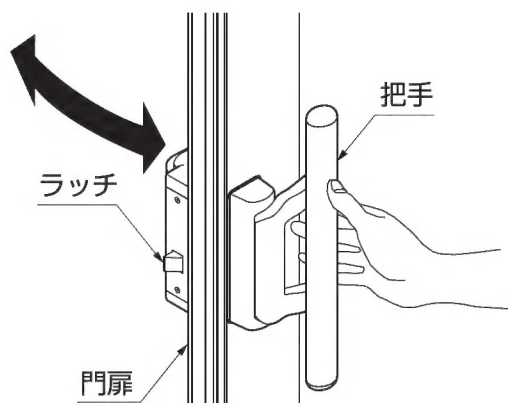
オプション

押ボタンスイッチ

補足

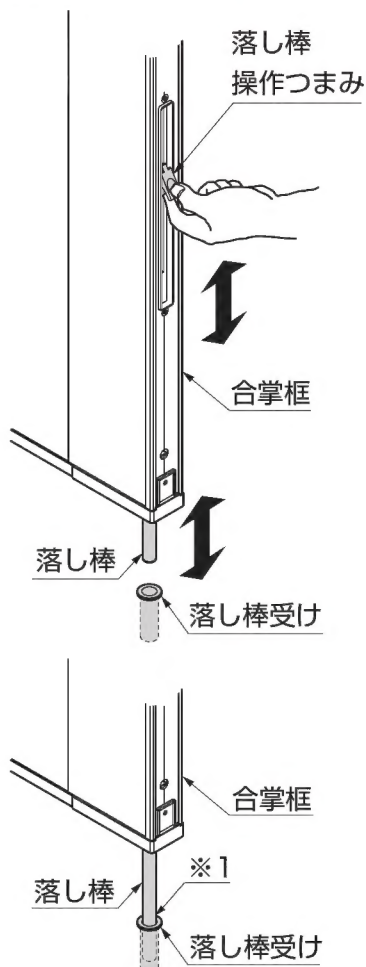
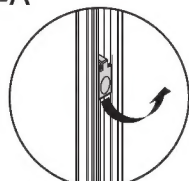
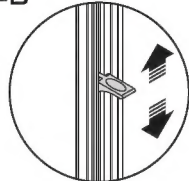
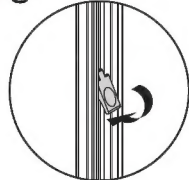
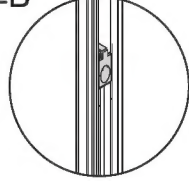
●キーNoを「8　修理」の欄に控えてください。
●キーNoは、キーの作製時に必要です。(※1)
●電気錠変換ボックスは、2線配線式の場合に使用します。
●シークレットキー（テンキー）オプション は、2線配線式の場合に使用できます。
●押しボタンスイッチ オプション は、2線配線式の場合に使用できます。

3 使用方法

3-1 門扉の開閉方法

①把手を押す、または引くとラッチが外れて門扉が開きます。
②把手を持って門扉を閉じると、ラッチが掛かり門扉が閉まります。

補 足

●電気錠で施錠しているときは、門扉の開閉はできません。

3-2 落し棒の操作方法

①落し棒を操作するには、落し棒操作つまみを一旦おこします。（操作A）

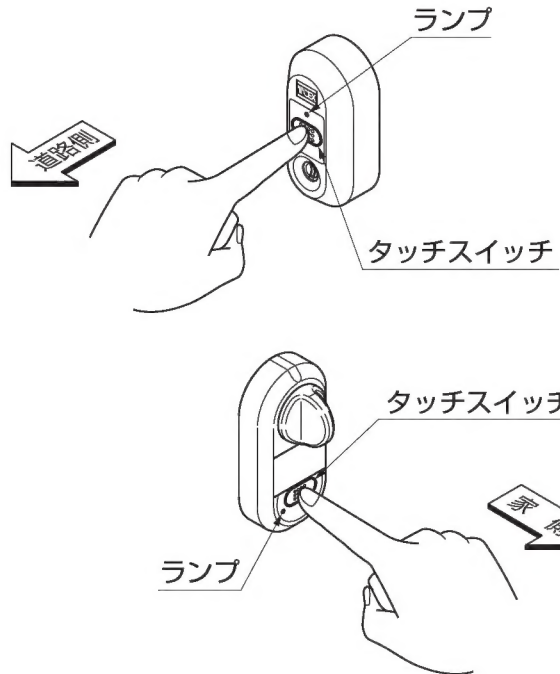
②落し棒操作つまみを更に引き起こし、落し棒を上下させます。（操作B）

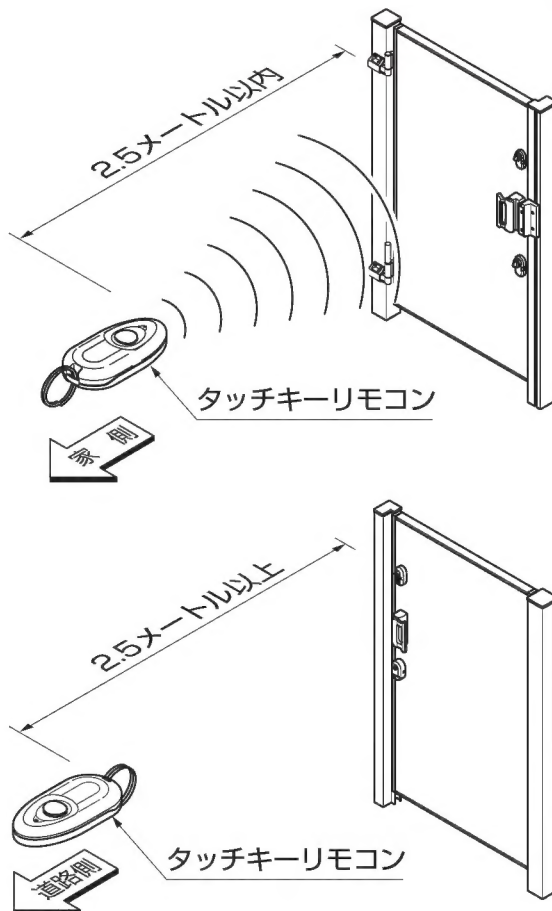
③一旦起こした落し棒操作つまみは元のようにもどして、固定します。（操作C、D）

お願い

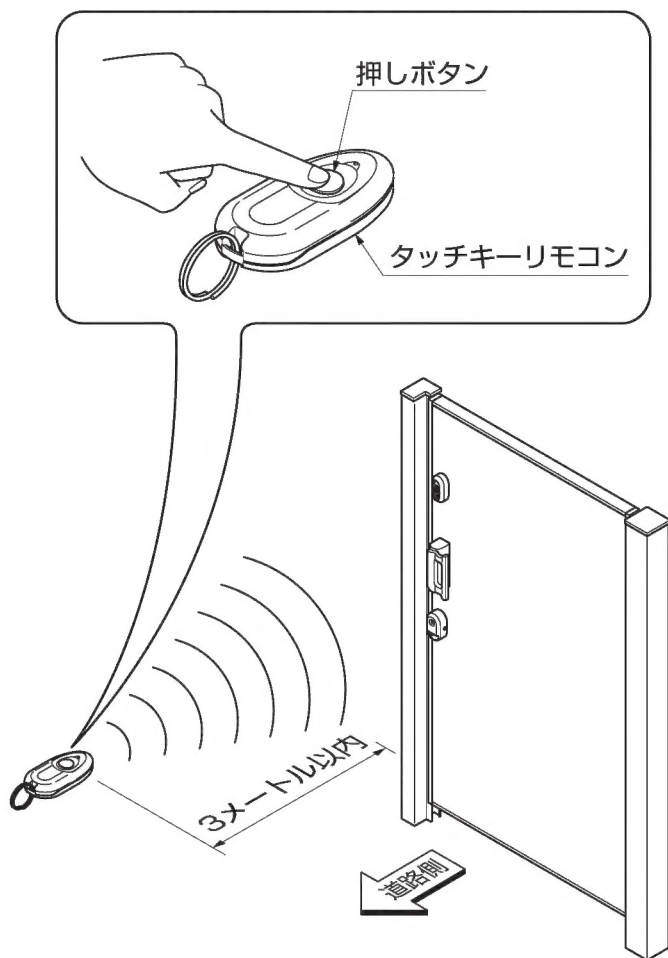
●落し棒操作つまみを元に戻さないまま門扉を開閉しないでください。落し棒や門扉が破損するおそれがあります。
●門扉を固定する場合は、落し棒が落し棒受けに入っていることを確認してください。（※1）
●掛側の門扉に、落し棒はありません。

3-3 タッチキーリモコンの施錠・解錠方法

(1) タッチキーモードでの施錠・解錠方法

①タッチキーリモコンを携帯してタッチスイッチを押すと、ランプが点灯して解錠・施錠します。

(2) ノータッチキーモードでの施錠・解錠方法

①タッチキーリモコンを携帯して門扉に2.5メートル以内に近付くと解錠します。

②タッチキーリモコンを携帯して扉を開いた後、扉を閉めて扉から2.5メートル以上離れると施錠します。

（3）リモコン機能での操作方法

①門扉から約3メートル以内の離れた場所からタッチキーリモコンの押しボタンを押すと、施錠・解錠します。

補足

●タッチキーリモコンの押しボタンを押して解錠した後にドアの開閉を行わなかった場合、約30秒後に自動施錠します。

●タッチキーリモコンの押しボタン操作で施錠
・解錠を行う場合の作動範囲は扉から周囲約3メートルです。

●扉の上または下の錠のどちらか一方を施錠している時に、タッチキーリモコンの押しボタンを押すと解錠します。もう一度タッチキーリモコンの押しボタンを押すと施錠します。

（4）作動範囲について

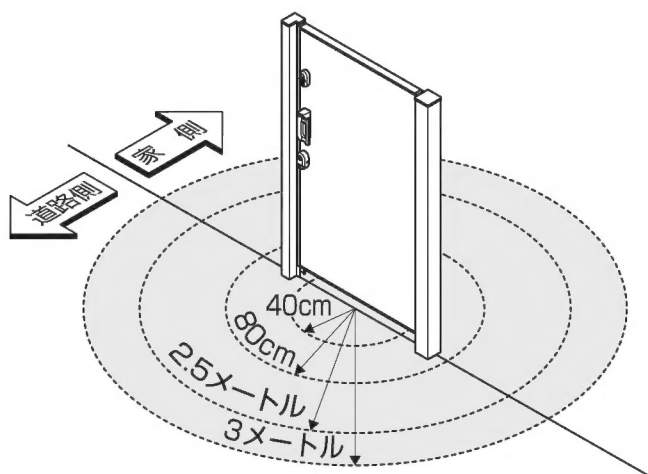
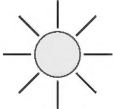
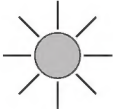
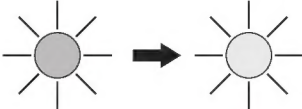
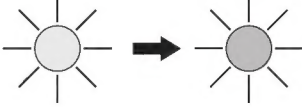
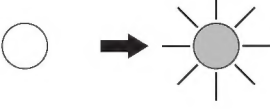
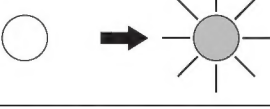



表3-1　作動範囲の通信状態

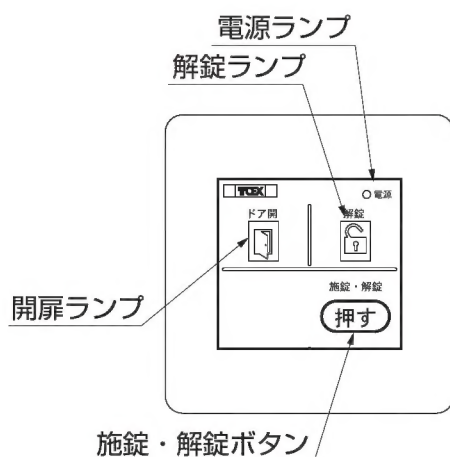
距離	通信状態
約40cm以内	タッチキーリモコンが作動しない場合がある範囲
約40cm〜80cm以内	タッチキーリモコンが作動する範囲
約2.5メートル未満	タッチキーリモコンが作動する場合がある範囲（※1）
約2.5メートル以上	タッチキーリモコンが作動しない範囲
約3.0メートル以内	タッチキーリモコンのリモコン機能が作動する範囲（※2）

※1 電波状況により作動する場合があります。
※2 電波状況により作動距離が短くなる場合があります。

(5)各種表示およびブザー音について

表示部	ランプの表示	お知らせ内容
タッチ付お出かけサムターン タッチスイッチ付シリンダー	消灯している	門扉の近くにタッチキーリモコンがありません
	緑色に点灯している	施錠しています
	赤色に点灯している	解錠しています
	赤色から緑色に切り替わった	ブザーが1回鳴って施錠作動が完了します
	緑色から赤色に切り替わった	ブザーが2回鳴って解錠作動が完了します
タッチキーリモコン	ボタンを押すと点灯する	タッチキーリモコンから電波が出ています
	ボタンを押しても点灯しない	故障か、タッチキーリモコンの電池が消耗しています
	門扉の近くに持っていくと、自動で点灯する	タッチキーリモコンがタッチ付お出かけサムターン、タッチスイッチ付シリンダーと通信を行なっています

3-4 その他の施錠・解錠方法

（1）室内メインコントローラーの操作方法（配線式の場合）

補 足

●室内メインコントローラーを使用することで、室内から門扉電気錠の施錠・解錠を行うことができます。
●開扉ランプが点灯している場合は、施錠・解錠の操作はできません。
●施錠・解錠ボタンを押した直後に、もう一度施錠・解錠ボタンを押しても作動しません。

①室内メインコントローラーの施錠・解錠ボタンを押すと門扉が施錠・解錠します。

名称	操作·表示
電源ランプ	電源が入ってる時に点灯します。
開扉ランプ	扉が開いてる時に点灯します。
解錠ランプ	扉が解錠している時に点灯します。
施錠·解錠ボタン	扉を施錠·解錠する時に押します。

補 足

●門扉を解錠した後に、門扉を開閉しなかった場合、約30秒後に自動施錠します。
●オプション設定の増設スイッチも室内メインコントローラーと同じ操作をします。

（2）電気錠操作ユニットの操作方法

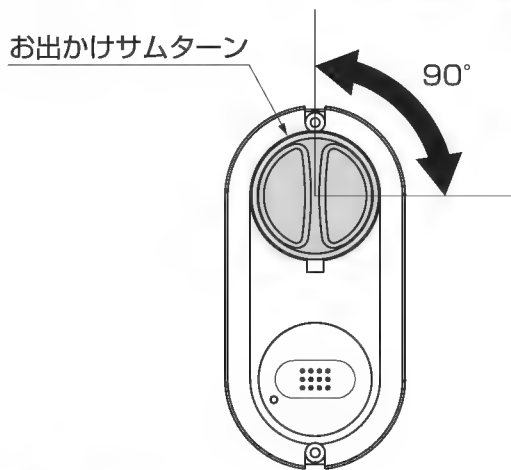
補 足

●付属の電気錠操作ユニットの取扱説明書を参照してください。

（3）シークレットキー（テンキー）での施錠・解錠方法（2線配線式の場合）

補 足

●付属の取扱説明書を参照してください。

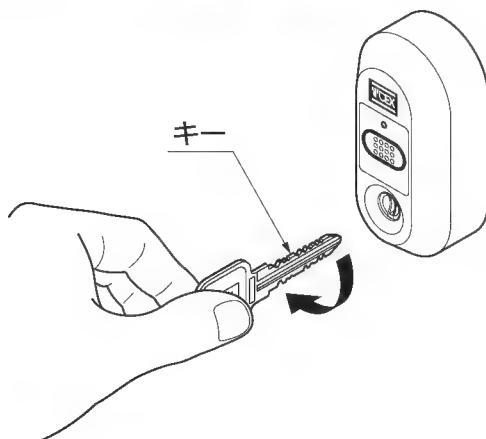
(4) お出かけサムターンでの施錠・解錠方法

①施錠・解錠を家側から手動で行う場合は、お出かけサムターンを90° まわします。

補 足

- ●配線式のときにドアを自動施錠したくない場合は、お出かけサムターンにより解錠します。
- ●配線式のときにお出かけサムターンにより解錠した場合は、自動施錠は行いません。
- ●2線配線式のときに、お出かけサムターンにより解錠した場合は、電気錠操作ユニットの作動設定にしたがいます。"自動施錠"に設定している場合は、自動で施錠します。

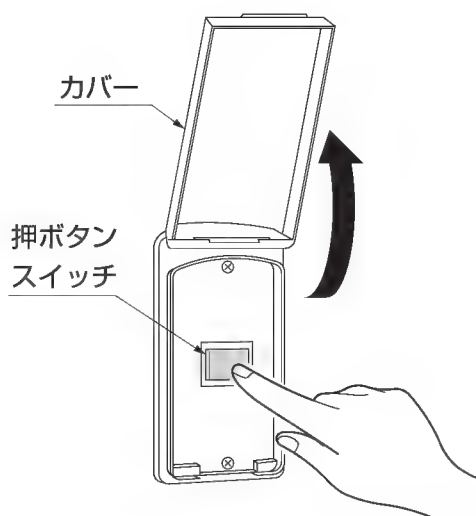
お 願 い

- ●サムターン破損の原因になりますので、サムターンの作動が終わるまでは、お出かけサムターンに無理な力を加えないでください。
- ●2線配線式で電気錠操作ユニットの作動設定を"自動施錠"にしている場合は、タッチキーリモコンおよび、キーを持って門外に出てください。解錠できずに締め出されてしまうことがあります。ただし、シークレットキー（テンキー）を使用している場合は解錠できます。

(5) キーによる施錠・解錠方法

①キーを差込んで、施錠・解錠を行います。

補 足

- ●配線式のときにキーにより解錠した場合は、自動施錠は行いません 。
- ●2線配線式のときにキーにより解錠した場合は、電気錠操作ユニットの作動設定にしたがいます。"自動施錠"に設定している場合は、自動で施錠します。

(6) 押ボタンスイッチでの解錠方法（2線配線式の場合）

①カバーを上げて、押ボタンスイッチを押して解錠します。

補 足

●施錠は自動施錠になります。押ボタンスイッチでの施錠はできません。

3-5 お出かけサムターンの取外し方

補 足

●配線式のときお出かけサムターンにより解錠した場合は自動施錠は行いません。

①お出かけサムターンを取外すときは、ボタンを押しながらお出かけサムターンを引張ります。

補 足

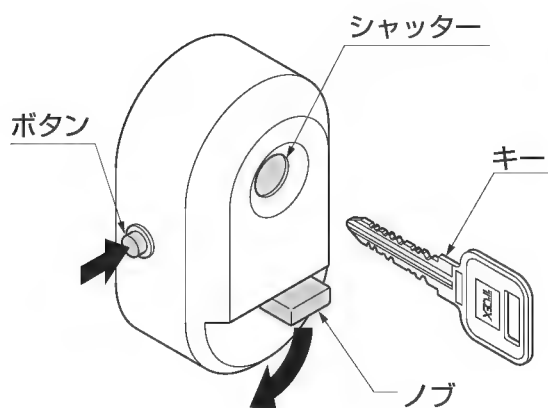
●お出かけサムターンの向きは垂直でも水平でも取外すことができます。

②お出かけサムターンを取付けるときは、ボタンを押しながらお出かけサムターンを差込みます。

3-6 防犯アラーム付シリンダーの使用方法

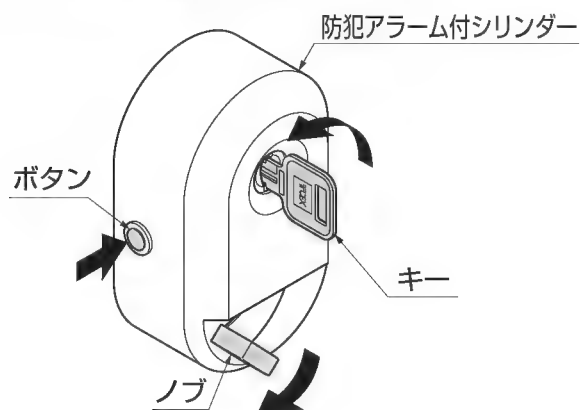
(1) シリンダーの使用方法

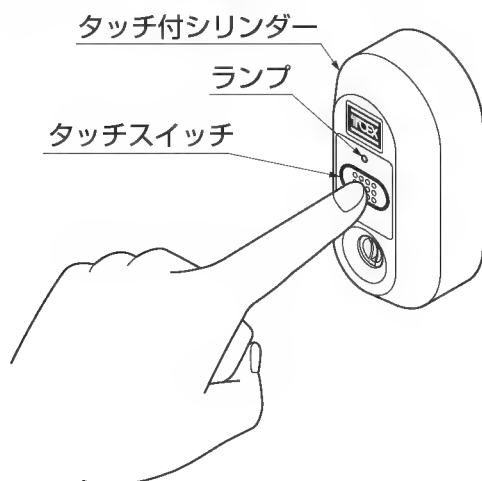
補足

●防犯アラーム付シリンダーは、通常シャッターで鍵穴を覆っています。これは普段から鍵穴を見せないことで鍵穴への直接的ないたずらや、不正解錠などを防止するためです。また、シャッターを開けてから一定時間以内に解錠しない場合にはブザーが鳴り出すため、ピッキング等を防止することができます。

①防犯アラーム付シリンダー側面にあるボタンを押します。
②ボタンを押しながらノブを押し下げます。
③ノブを押さえたまま、キーを挿して施錠・解錠します。

補足

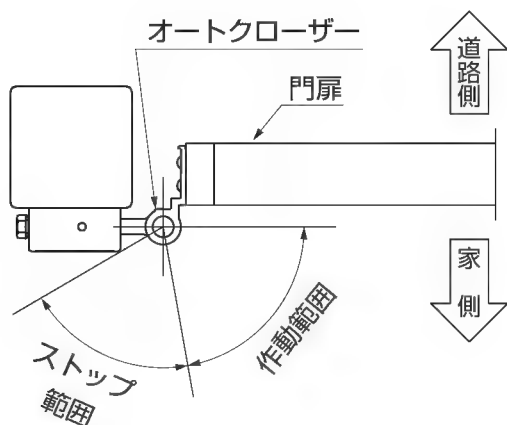
●ノブを押し下げるとシャッターが開き、キーが差し込めるようになります。
●施錠時にノブを押し下げたまま約30秒解錠しないでいると、不正と認識してブザーが鳴り出します。ブザーは約30秒間で鳴り止みます。
●解錠時に30秒ノブを押し下げたままでいると、ブザーが3回鳴って知らせます。

(2) ブザー解除方法　防犯アラーム付シリンダー

①防犯アラーム付シリンダーをキーで解錠します。

(3) ブザー解除方法　タッチスイッチ付シリンダー

①タッチスイッチ付シリンダーで解錠します。

3-7 オートクローザーについて（オプション）

（1）内開き

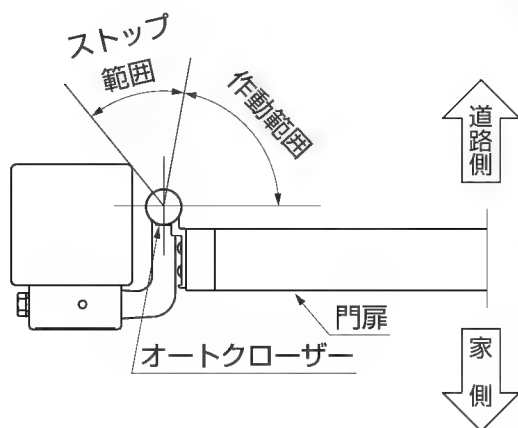
補足

●オートクローザー付門扉には、作動範囲とストップ範囲があります。

①門扉を開いた後、作動範囲内であれば自動的に閉まります。
②門扉をストップ範囲まで開くと、止まります。
③閉じる場合は、作動範囲まで門扉を閉めます。

注意

●オートクローザーで門扉が作動中のときは、門扉に触れないでください。無理な力を加えると、門扉取付部に損傷を与える場合があります。

（2）外開き

補足

●オートクローザー付門扉には、作動範囲とストップ範囲があります。
●外開きの場合は、柱が変わるとストップ範囲が変わります。
●オートクローザーの作動範囲およびスピードの調節が必要な場合は、施工店にご相談ください。

①門扉を開いた後、作動範囲内であれば自動的に閉まります。
②門扉をストップ範囲まで開くと、止まります。
③閉じる場合は、作動範囲まで門扉を閉めます。

注意

●オートクローザーで門扉が作動中のときは、門扉に触れないでください。無理な力を加えると、門扉取付部に損傷を与える場合があります。

3-8 ご注意とお願い

⚠注意

●製品の分解や改造は絶対にしないでください。

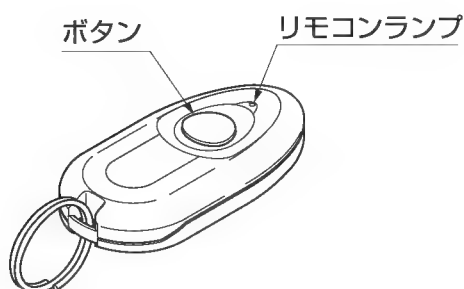
お願い

●シリンダー、蓄光リングなどの錠に関する部品の交換は、お買あげの販売店（工事店）にご相談ください。
●キーはメーカー純正のものをご使用ください。なお、紛失や追加によるキーの作製を行うためには、キーNoが必要です。 キーNoは、英数字でキーに刻印していますので、「8　修理」の欄に控えてください。
●鍵穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。 鍵がスムーズに動かなくなったら、錠前専用潤滑剤を鍵穴に注入してください。油や市販の合成潤滑剤は、ホコリを吸着して、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。
●鍵が凍結して動かなくなった場合は無理に動かさずに市販のスプレー式霜取り剤を使用してください。
●門扉の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。表面が変色するおそれがあります。
●外出の際は、タッチキーリモコンだけでなく、キーも必ずお持ちください。停電、故障時、電池切れ等解錠できない場合があります。
●タッチキーリモコンを携帯電話や無線機等、無線通信機器と一緒に携帯しているときや、タッチキーリモコンが金属製の物に覆われているとき、近くで電波式の他のタッチキーリモコンを操作しているとき、またはパソコン・テレビ・オーディオ等の電化製品の近くに置いたときは、タッチキーリモコン機能が正常に作動しないことがあります。
●タッチキーリモコンの電池消耗時や強い電波・ノイズ・磁気のある状況下では作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。
●停電になった場合は、タッチキー操作、リモコン操作による施錠・解錠はできません。キー、サムターンで操作してください。キー、サムターンで操作するまでは、電気錠は停電前の状態のままです。電源が復帰しても、ドアの状態はそれ以前の状態のままです。
●タッチキーリモコンは窓際や車内等、高温になる場所に置かないでください。
●タッチキーリモコンは、水に濡らしたり強い衝撃等を与えないでください。
●製品に関する移設、増設等は、お買い求めの工務店・販売店・電気工事店（電気工事有資格者）にご相談ください。

4　各機能の設定方法

4-1　リモコン本体の電源操作方法

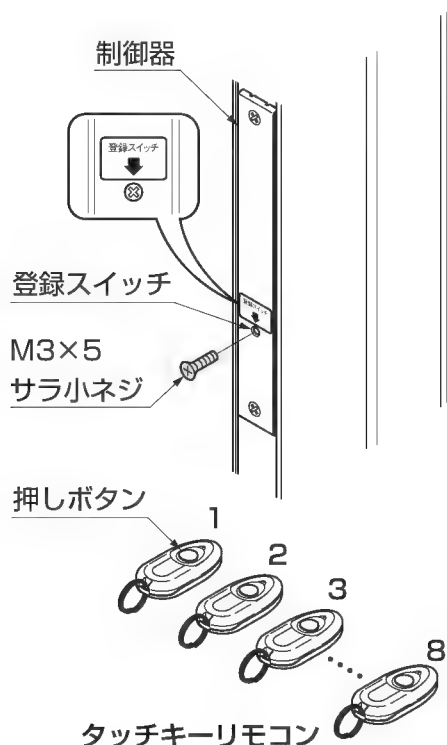
補足

●門扉付近にタッチキーリモコンを保管する場合は、以下の方法でタッチキーリモコンの電源を切ってください。

①タッチキーリモコンの電源を切るには、ボタンを押すとリモコンランプが点灯する状態でボタンを約3秒間押してください。リモコンランプが消灯して電源が切れます。

②タッチキーリモコンの電源を入れるには、ボタンを押してもリモコンランプは点灯しませんが、そのまま約3秒間押し続けているとリモコンランプが点灯して電源が入ります。

4-2　タッチキーリモコンの追加登録方法（オプション）

補足

●タッチキーリモコンは、本体に2個付属しています。付属のリモコンは登録済みです。
●タッチキーリモコンを増やしたいときには追加登録を行ってください。合計8個まで追加することができます。
●追加登録すると、それまでの登録内容はすべて消えますので、すでに登録済みのタッチキーリモコンも同時に再登録してください。

①登録するタッチキーリモコンをすべて用意します。

②扉を開けて制御器の下部にある「M3×5サラ小ネジ」を取外します。

③登録スイッチをつまようじ、ヘアピン等の先の細いものを利用してブザーが3回鳴るまで登録スイッチを押します。

④30秒以内に登録するタッチキーリモコンの押しボタンを押します。このときに登録したタッチキーの個数分ブザーが鳴ります。

⑤30秒後に登録個数分のブザーが鳴り登録終了になります。

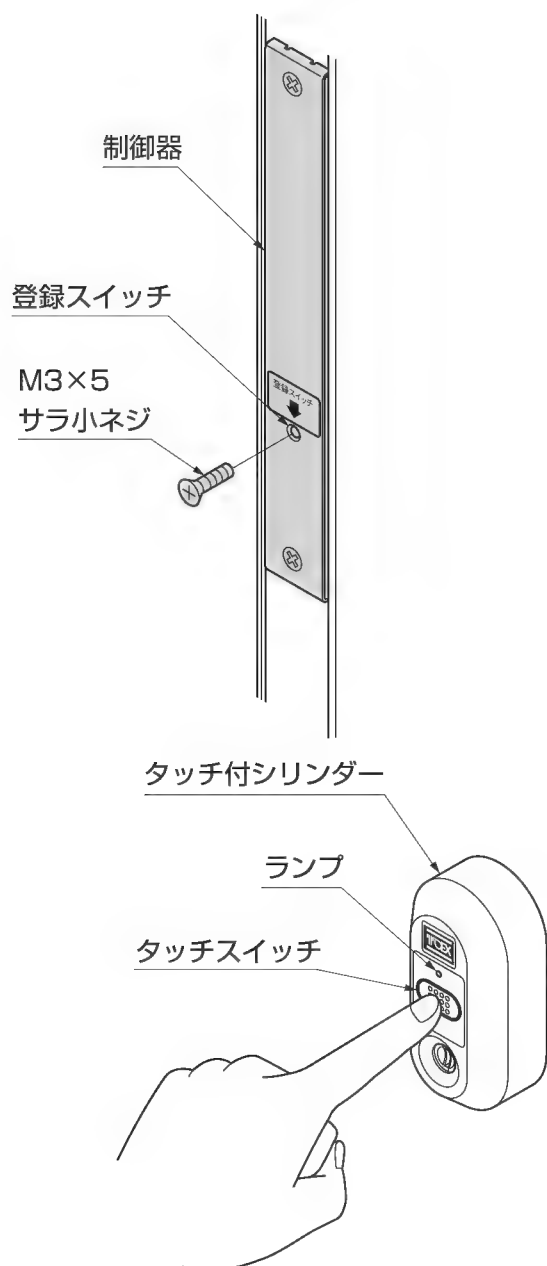
⑥終了したら取外した「M3×5サラ小ネジ」を取付けます。

補足

●「M3×5サラ小ネジ」は必ず取付けてください。取付けないと水の侵入により故障の原因になります。

4-3 タッチキー／ノータッチキーモード切替方法

補 足

●タッチキーモードは、タッチキーリモコンを携帯して、門扉のタッチスイッチを押すと解錠します。
●ノータッチキーモードは、タッチキーリモコンを携帯して、門扉に近付くと解錠します。

①制御器の下部の「M3×5サラ小ネジ」を取外して、登録スイッチをつまようじやヘアピン等の先の細いもので押すとブザーが3回鳴ります。

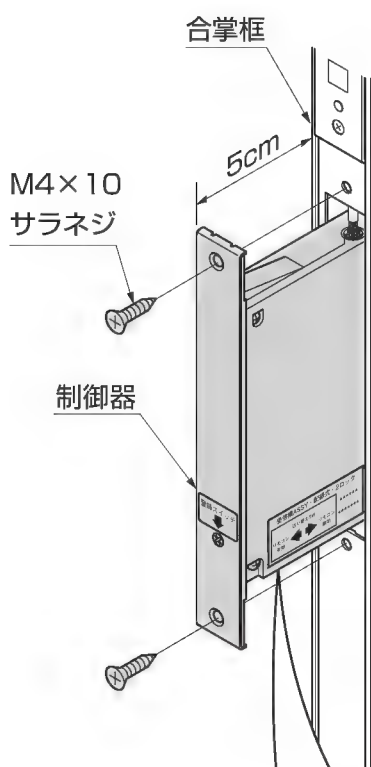
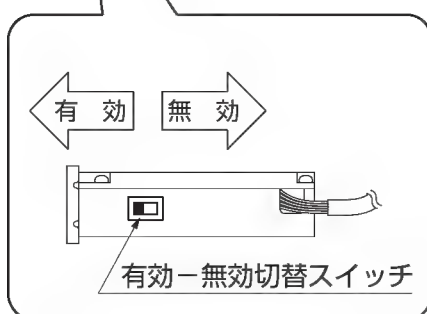
②30秒以内にタッチスイッチを押します。
③終了したら取外した「M3×5サラ小ネジ」を取付けます。

補 足

●タッチキーモードからノータッチキーモードの切替のときには、制御器のブザーが2回鳴って切替が完了します。
●ノータッチキーモードからタッチキーモードの切替のときには、制御器のブザーが1回鳴って切替が完了します。
●タッチキー／ノータッチキーモードの切替は反転になります。

4-4 リモコン拒否機能の設定方法

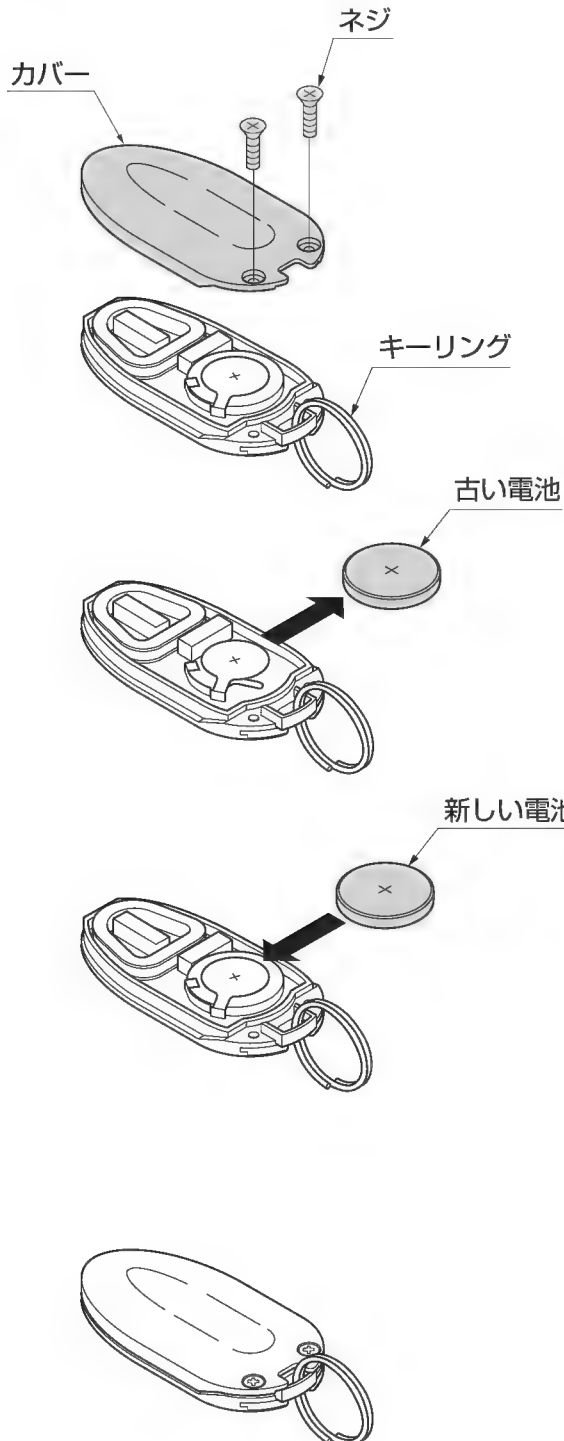
補 足

●出荷時は、リモコン機能は有効になっています。
●玄関ドアや他門扉を共通で使用する場合は、門扉と玄関ドアまたは、他門扉が近くにあるリモコン操作ですべての扉が施解錠します。その場合は、門扉のリモコン機能を無効にしてください。

①制御器を固定している「M4×10サラネジ」を2本を取外します。
②制御器を5cm手前に出します。
③制御器下部の有効ー無効切替スイッチを無効にします。
④取外した手順と逆の手順で取付けます。

補 足

●制御器には配線を接続していますので無理に引っ張らないでください。

5　タッチキーリモコン電池交換方法

補 足

- 電池交換をした後に、新たに登録操作を行う必要はありません。
- 普段使用しないタッチキーリモコンは、電池の消耗を防ぐため電池を取外した状態で保管することをお勧めします。

①ネジを取外してカバーを開きます。

②古い電池を取出します。

③新しい電池の＋極を上にしてケースに入れます。

補 足

- 電池交換時にはキーリング等の部品を紛失しないように注意してください。
- 電池の＋－極は正しい向きに取付けてください。
- 内部にゴミ・油等付着しないように注意してください。
- 電池は、リチウム電池CR2032相当品を使用してください。

④カバーを戻して、ネジで取付けます。
⑤タッチキーリモコンの押しボタンを押した時にランプが点灯することを確認します。

6 お手入れについて

(1) 汚れの取り方

①年に2～3回は水洗いをして拭きとってください。
a.汚れが軽い場合は水で濡らした布で拭いた後、乾拭きをしてください。
b.汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落したあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

●シンナー、ベンジン等の有機溶剤は使わないでください。材料が変形・変色したり、塗料がはげることがあります。
●ブラシは使用しないでください。キズがつくおそれがあります。

(2) キズの補修

①あやまってアルミにキズをつけた場合は、弊社純正補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。

7　修理を依頼する前に

●故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときは、修理をご依頼ください 。

このようなとき	点　検	処　置
タッチキーモード、ノータッチモードでの施錠・解錠ができない またはリモコン機能による施錠・解錠ができない	室内メインコントローラーの電源ランプはONになっていますか	電源またはブレーカーを入れてください
	扉が開いてピー音が5回鳴っていませんか	扉を閉めてください
	タッチキーリモコンが登録されていますか	登録してください （「4　各機能設定方法」参照）
	タッチキーリモコンの押しボタンを押したときにタッチキーのランプは点灯しましたか	タッチキーリモコンの電源を入れてください。 （「4　各機能設定方法」参照）
		タッチキーリモコンの電池が消耗しています。タッチキーリモコンの電池を新品と交換してください （「5　タッチキーリモコン電池交換方法」参照）
室内メインコントローラーによる施錠・解錠ができない	扉が開いてピー音が5回鳴っていませんか	扉を閉めてください
電動でのサムターン作動による施錠・解錠時にサムターンからピー音が鳴る	扉が完全に閉まっていますか	扉を閉めてください
	解錠しようとしたときにピー音が約40回鳴りましたか	扉に異物がつまっているときは異物を取除いてもう一度施錠してください
	扉に異物がつまっていませんか	
扉を閉めたが自動施錠しない	タッチキーリモコンを使用して解錠しましたか（配線式）	お出かけサムターンまたは、キーで解錠するなど、タッチキーリモコンを使用して解錠していない場合、自動施錠機能は作動しません。タッチキーリモコンを使用して解錠するか、お出かけサムターンまたは、キーで施錠してください。
	タッチキーリモコンを使用して解錠しましたか（2線配線式）	電気錠操作ユニットの作動設定にしたがい、"自動施錠"にしている場合は、自動で施錠します。
タッチキーリモコンの押しボタンを押すとランプは点灯するが、施錠・解錠できない	タッチキーリモコンを登録していますか	全てのタッチキーリモコンを再登録してください （「4　各機能の設定方法」参照）

8　修理

●製品に異常が生じたときは使用を中止してお買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。
●修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店（工事店）または、東洋エクステリア「お客様相談室」にお問い合わせください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年　月　日	電話番号	
施工店名		キ ー No	

9　別売り品

●下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。
・タッチキーリモコン
　タッチキーリモコンを追加することができます。
・吊元側すきまガード
・戸当り側すきまガード
・外開き用部品
　アルミ門柱仕様では、扉を道路側に開く外開き仕様にすることができます。
・補修塗料
　あやまってキズをつけたときの補修にご利用ください。
●錠前専用潤滑剤は合鍵店で購入してください。

TOEX

ライフモダン タッチ＆ノータッチキー門扉　保証書

製造No.（商品名シールNo.）		
保証期間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本　体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	平成　年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　㊞ 電話（　）

東洋エクステリア株式会社
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-12 TEL(03)3341-5051(代)

1. 保証者
東洋エクステリア株式会社

2. 保証の対象者
当該商品の所有者

3. 対象商品
東洋エクステリアブランドで販売しているエクステリア商品

4. 保証内容
取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。

5. 保証期間
当該商品の施工完了日（お引き渡し日）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品についてはご購入された日から起算して1年間。

6. 免責事項
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①取付説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された施工・取り付け方法から逸脱したことに起因する不具合（例えば、腐食促進のおそれがある海砂・急結材等を使用したモルタルによる腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下など）。

②取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。

③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。

④建築躯体や、外構工事、土間工事、電気工事などの商品以外に起因する不具合。

⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、ひび割れ、節抜け、ささくれ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。

⑥自然現象や住環境に起因する結露、樹液の染み出しなどに起因する不具合（例えば、結露による凍結、かび、さび発生、樹液によるコンクリート壁面などの汚れなど）。

⑦環境が特に悪い地域又は場所に取付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどの付着によって起きる腐食や塗装剥離、異常な高温・低温・多湿による不具合など）。

⑧天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。

⑨実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。

⑩犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、又はつるや根などの植物の害による不具合。

⑪使用者や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取外し含む）に起因する不具合。

⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。

⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お客様相談室にお問い合せください。

—お客様相談室—
0120-171-705

東洋エクステリア株式会社

取説コード
UA148

QUE603607C
200501A_1001
200911D_1039